

GX 形ダクタイル鉄管・NS 形 E 種ダクタイル鉄管用 簡易接合器

サイトコネクトⅡ取扱説明書

(呼び径 75・100 用)



ご使用前に必ずお読みください

購入(借受)年月日 : 年 月 日

—お願い—

- この取扱説明書は、ご使用される方に必ずお渡しください。
- 安全にご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
- この取扱説明書は、ご使用される方が必要なときにいつでも見られるところに大切に保管してください。

この取扱説明書は、サイトコネクトⅡを正しく安全にご使用していただくための作業手順と注意事項を記載したものです。誤った使用方法是、事故・けがの原因となります。

本取扱説明書は、サイトコネクトⅡをご使用される方が GX 形管・NS 形 E 種管の接合作業に関する事項について、ご理解されているものとした上で、当接合器具の使用方法和注意事項に限定して記載しています。

接合作業は、接合要領書 (GX 形 JDP A W16 / NS 形 E 種 JDP A W21) に従って実施してください。

* 本書の記載事項は、予告なく変更することがあります。

○安全に作業頂くための注意事項

 **警告** このマークは、その事項を守らないと使用者または第三者が、死亡または重傷を負う危険性があることを意味しています。

 **注意** このマークは、その事項を守らないと使用者または第三者が傷害を負ったり、あるいは管の持つ本来の機能を発揮することができなかつたり、管を破損する可能性があることを意味しています。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

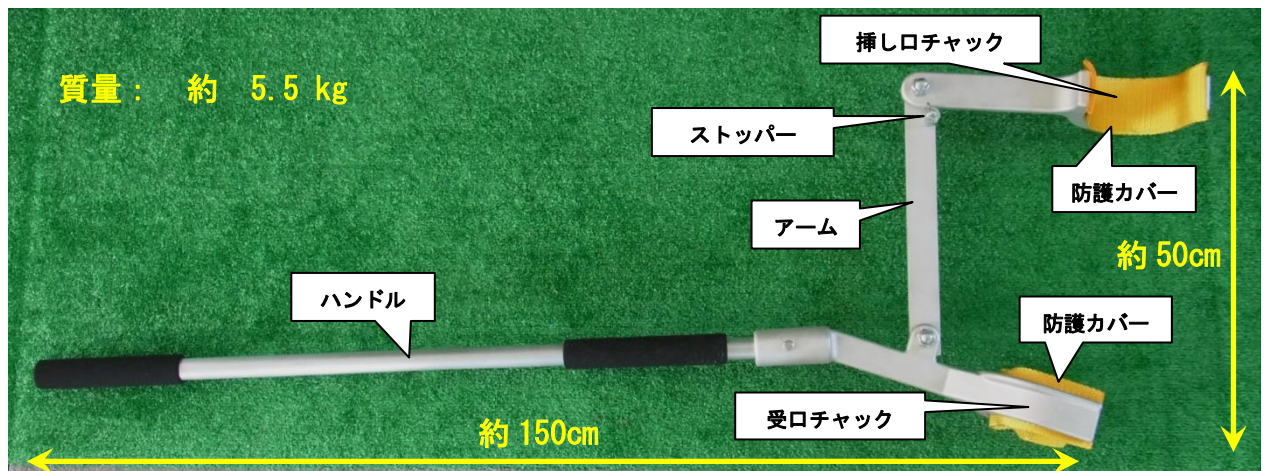
 警告	
○	作業の際は、安全靴・ヘルメット・保護手袋等を着用してください。
○	用途外で使用した場合、サイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。
○	使用前にサイトコネクトⅡに異常がないかを点検してください。異常がある状態で使用した場合やサイトコネクトⅡを改造した場合、接合作業時にサイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。また、正常に接合できない恐れがあります。
○	防護カバーの摩耗や、防護カバー内面に滑剤や土等の異物の付着がある状態で接合作業を行った場合、チャックが管から外れ、使用者が体勢を崩して、転倒もしくは掘削溝内に落下し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。
○	接合要領に従わずに作業を行った場合、挿入力が過大となって、サイトコネクトⅡが管から外れたり、接合作業時にサイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。
○	サイトコネクトⅡを管に据え付ける前に、足元が安定しているかどうかよく確認してください。作業中のつまずきや滑り、地山の崩れなどによって、掘削溝内に転落する恐れがあります。
○	管にポリエチレンスリーブを被覆する場合（NS 形 E 種管では必須）は、サイトコネクトⅡの受口チャックおよび挿し口チャックと管の間にポリエチレンスリーブを挟まないようにしてください。ポリエチレンスリーブを傷つけるだけでなく、受口チャックおよび挿し口チャックと管の間で滑りが生じることで、作業者が体勢を崩し、転倒したり、掘削溝内に転落する恐れがあります。
○	挿し口チャック部の下部に大きな石などがある状態や、管横と挿し口チャック内面に隙間がある状態で接合した場合、挿し口チャックが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。
○	ハンドルを回転させるときには、体位に注意してください。体重をかけて下に押し込むように作業をすると、チャックが管から外れた場合などに、体勢を崩し、掘削溝内へ落下する恐れがあります。
○	挿し口挿入時に過度な力が掛かる場合は、一旦、接合作業を中止し、管の接合角度などを確認してください。確認後も、挿し口の挿入が困難な場合は無理に作業を続けず、レバーホイスト等を用いて接合を行ってください。無理に挿入作業を続けるとサイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。
○	ストッパーを取付けた状態で無理に挿し口を引き抜かないでください。サイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。
○	挿入作業でハンドルを回転させる際は、無理に反動をつけないように注意して下さい。無理に反動をつけてハンドルを回転させると、サイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。

○	挿し口の挿入時、挿入する管はクレーンなどで吊って地面から離れた状態にし、ゆっくりと、少しずつ挿入作業を行って下さい。管を吊らずに置いた状態で挿入作業を続けると過度な力が掛かり、サイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。
 注意	
○	ストッパーがアームに正しく取付けられていない場合、挿し口チャックとアームの間で指を挟む恐れがあります。
○	掘削溝内に作業者がいる場合には、作業者の頭上でサイトコネクトⅡの取り回しを行わないでください。サイトコネクトⅡの接触により作業者が負傷する恐れがあります。

【簡易版】サイトコネクトⅡ使用方法（呼び径 75・100 用）

※必ず詳細版（p. 4～8）もご確認ください。

1. サイトコネクトⅡの各部名称



2. 使用用途

呼び径 75・100 の GX 形管 又は NS 形 E 種管の直管の接合作業に使用できます。

※ただし、GX 形管と NS 形 E 種管（GX 形管受口と NS 形 E 種管挿し口、NS 形 E 種管受口と GX 形挿し口）の接合には使用できません。

3. 使用方法

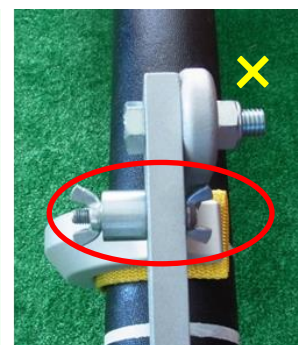
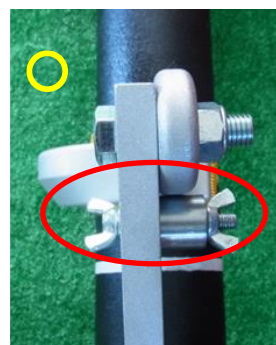
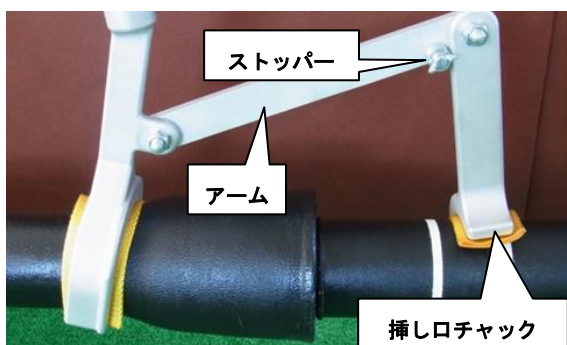
① 使用前の点検



② ストッパーの取付け確認

- 各部材や連結部に異常がないこと
- 防護カバーに傷みや異物の付着がないこと

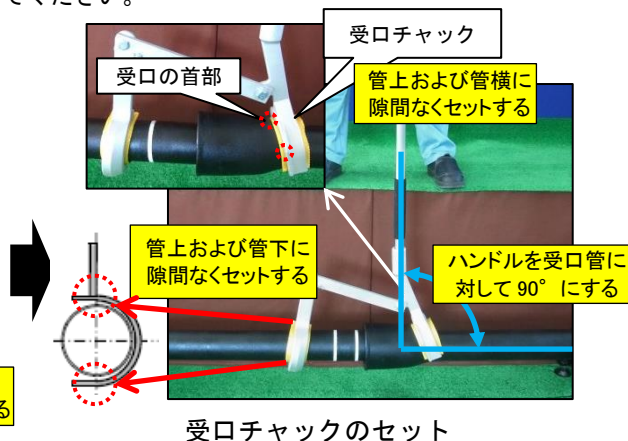
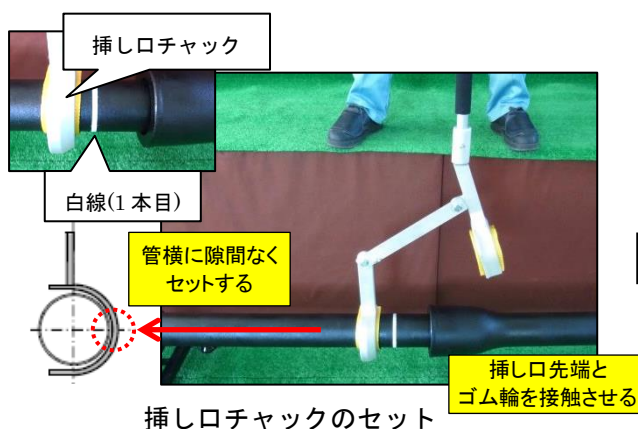
○ストッパーが、下の写真のように取り付けられていることを確認する。





③ サイトコネクトⅡの据え付け

○まず挿し口側を、その後に受口側に据え付けてください。
※このとき、引き込む側の管はクレーン等で吊った状態を保持してください。



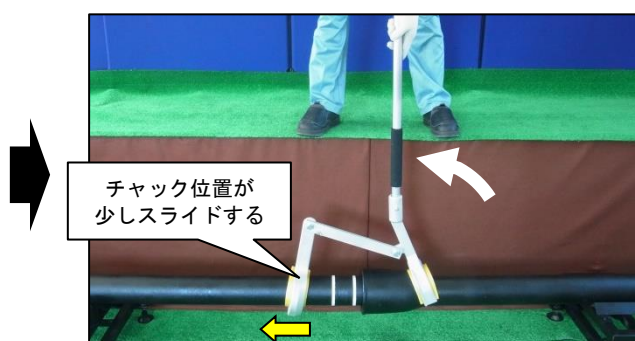
④ 管の接合

○ハンドルを操作して、以下の順序で管の「引き込み」を行ってください。

【順序】1回目：ゴム輪通過、2回目：ロッキング通過、3回目：白線合わせ

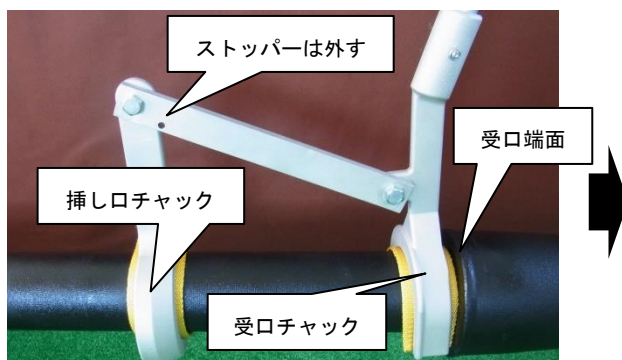
なお、「引き込み」後は「戻し」を行うことでチャック位置がスライドし、再度「引き込み」を行うことができます。

○1回目のハンドル引き操作で挿し口突部がゴム輪を通過しなかった場合は再度③サイトコネクトⅡの据え付けを行い、セットし直してください。(再セットしなかった場合、管との隙間が生じて引き代が足りなくなる恐れがあります。)



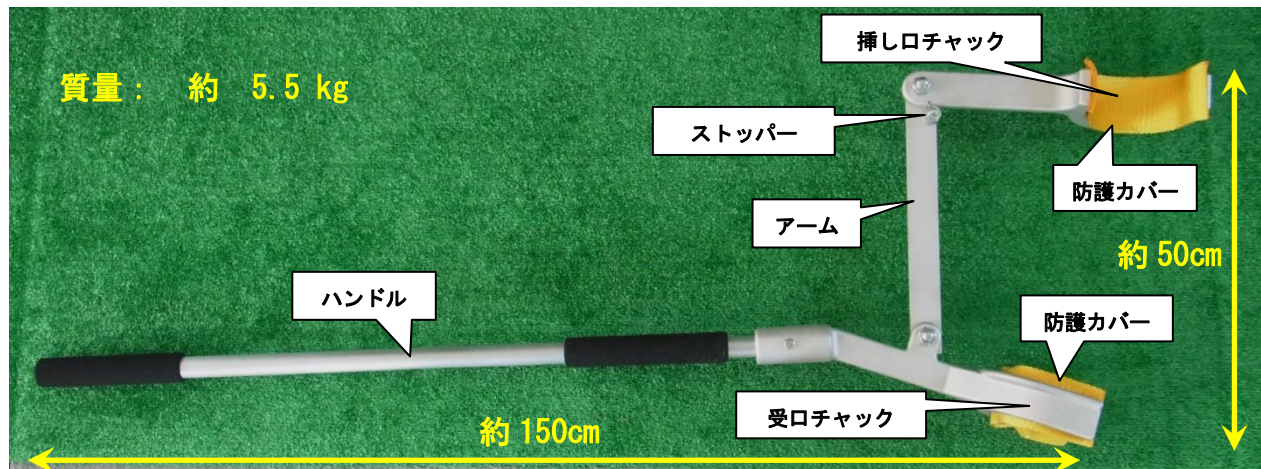
【挿し口を挿し過ぎた場合】

受口チャックを受口端面に当て、ストッパーを外した状態で挿し口チャックを挿し口にセットし、1本目の白線の幅上に受口端面がくるまで、挿し口を引き抜いてください。



【詳細版】サイトコネクトⅡ使用方法（呼び径 75・100 用）

1. サイトコネクトⅡの各部名称



2. 使用用途

呼び径 75・100 の GX 形管 又は NS 形 E 種管の直管接合作業に使用できます。

※ただし、GX 形管と NS 形 E 種管との接合には使用できません。

（GX 形管受口と NS 形 E 種管挿し口、NS 形 E 種管受口と GX 形挿し口）



警告

- ・ サイトコネクトⅡは上記（直管接合作業）以外の作業には使用しないでください。
- ・ 異形管、受挿し短管、P-Link を取り付けした挿し口には使用できません。
- ・ 切管用挿し口リングを取り付けた挿し口には使用しないでください。
- ・ 解体作業には使用しないでください。
- ・ 用途外で使用了場合、サイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。

3. 使用前の点検 ※日常点検の方法は、p.9～12 をご確認ください。

- 1) ハンドル、アーム、受口チャック、挿し口チャック等、その他の部品に、ひび割れや緩み等の異常がないことを必ず確認してください。また、サイトコネクトⅡの改造は行わないでください。



警告

- ・ 使用前にサイトコネクトⅡに異常がないかを点検してください。異常がある状態で使用した場合やサイトコネクトⅡを改造した場合、接合作業時にサイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。また、正常に接合できない恐れがあります。

- 2) 防護カバーの著しい摩耗がないこと、防護カバー内面に滑剤や土等の異物の付着がないことを確認してください。

※著しい摩耗とは、カバーの全幅にわたって織目が判らないほど毛羽立ちが生じた状態を目安とします。
滑剤や土等の異物が付着していない状態でも作業中の滑りが生じる場合には、カバーの交換をお勧め致します。



警告

- ・ 防護カバーの摩耗や、防護カバー内面に滑剤や土等の異物の付着がある状態で接合作業を行った場合、チャックが管から外れ、使用者が体勢を崩して、転倒もしくは掘削溝内に落下し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。

3) 接合作業は、接合要領書 (GX 形 JDP A W16 / NS 形 E 種 JDP A W21) に従って実施下さい。



警告

・接合要領に従わずに作業を行った場合、挿入力が過大となってサイトコネクトⅡが管から外れたり、接合作業中にサイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。

＜接合要領に従わない作業例＞

- ・ダクタイル鉄管継手用滑剤を使用しない作業
- ・滑剤を所定の範囲に塗布しない作業
- ・管をクレーン等で吊っていない作業
- ・2°より大きく曲げた状態での接合作業

4. 使用手順

1) ストッパーの取付け確認

ストッパーがアームの所定の位置に取付けられていることを確認する。

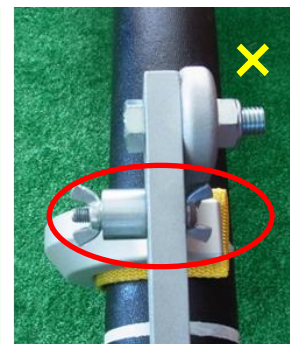
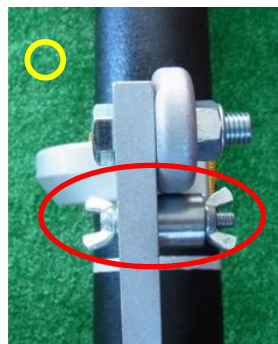
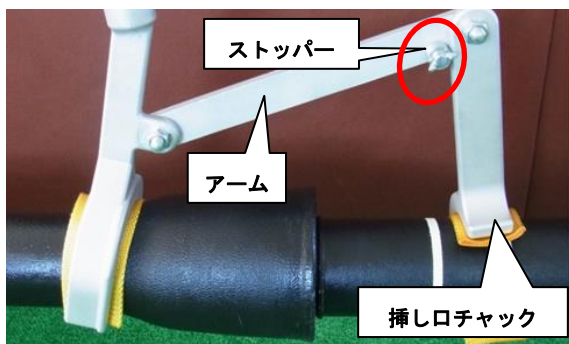
※ストッパーは、アームと挿し口チャックの連結部の屈曲を制限するためのものですので、必ずアームに取付けてください (呼び径 75、100 共通)。



注意

・ストッパーがアームに正しく取付けられていない場合、挿し口チャックとアームの間で指を挟む恐れがあります。

・ストッパーが正しく取り付けられていない場合、挿し口チャックが正常に機能せず、接合できない恐れがあります。



2) 管へのサイトコネクトⅡ据え付け

- (1) 接合する管の挿し口先端を受口にセットされたゴム輪に当てた後、管を吊った状態を保持して挿し口の 1 本目の白線が見える位置に挿し口チャックをセットする。この時、挿し口チャックの下部に大きい石などの干渉物がないか確認し、管横と挿し口チャック内面を隙間なくセットする。
- (2) サイトコネクトⅡの受口チャックを、管の受口首部にセットする。この時、ハンドルは受口管に対して 90° となるようセットし、挿し口チャックは挿し口の管上と管下、受口チャックは受口の管上と管横がそれぞれ隙間なく掛かり合った状態となるようセットして下さい。



警告

・サイトコネクトⅡを管に据え付ける前に、足元が安定しているかどうかをよく確認してください。作業中のつまずきや滑り、地山の崩れなどによって、掘削溝内に転落する恐れがあります。

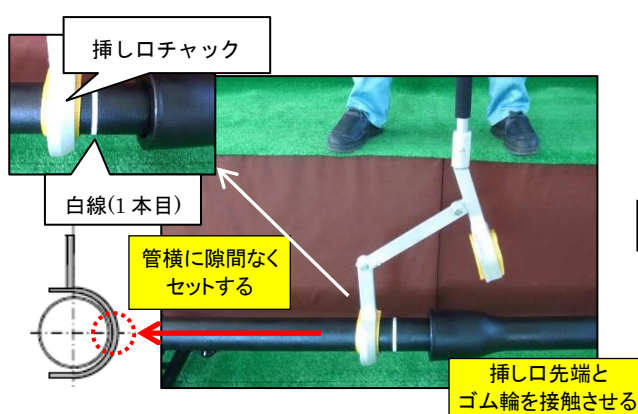
・管にポリエチレンスリーブを被覆する場合 (NS 形 E 種管では必須) は、サイトコネクトⅡの受口チャックおよび挿し口チャックと管の間にポリエチレンスリーブを挟まないようにしてください。ポリエチレンスリーブを傷つけるだけでなく、受口チャックおよび挿し口チャックと管の間で滑りが生じることで、作業者が体勢を崩し、転倒したり、掘削溝内に転落する恐れがあります。

・挿し口チャック部の下部に大きな石などがある状態や、管横と挿し口チャック内面に隙間がある状態で接合した場合、挿し口チャックが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。

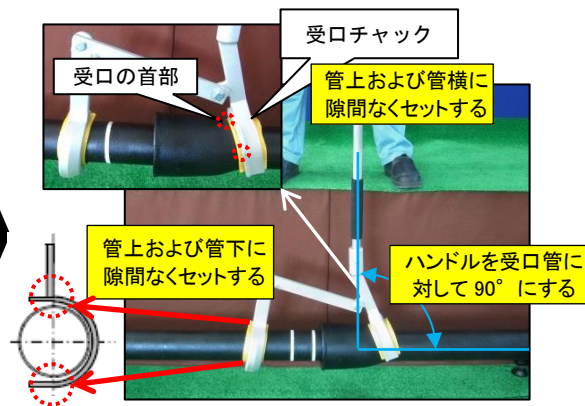


注意

・掘削溝内に作業者がいる場合には、作業者の頭上でサイトコネクトⅡの取り回しを行わないでください。サイトコネクトⅡの接触により作業者が負傷する恐れがあります。



挿し口チャックのセット



受口チャックのセット

3) 管の接合（挿し口の挿入）

- (1) 挿し口チャックを挿し口に隙間なくセットし、受口チャックを受口首部に隙間なくしっかり押し付けた状態で、ハンドルを受口側へ回転させ、受口内に挿し口を引き込む。このとき、受口チャックが受口首部に浮きなくセットできていることを確認する。



警告

- ・ハンドルを回転させるときには、体位に注意してください。体重をかけて下に押し込むように作業をすると、チャックが管から外れた場合などに、体勢を崩し、掘削溝内へ落下する恐れがあります。
- ・挿し口の挿入時、挿入する管はクレーンなどで吊って地面から離れた状態にし、ゆっくりと、少しずつ挿入作業を行って下さい。管を吊らずに置いた状態で挿入作業を続けると過度な力が掛かり、サイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。
- ・挿し口挿入時に過度な力が掛かる場合は、一旦、接合作業を中止し、管の接合角度などを確認してください。確認後も、挿し口の挿入が困難な場合は無理に作業を続けず、レバーホイス等を用いて接合を行ってください。無理に挿入作業を続けるとサイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。

【受口チャックの浮き】



(2) 挿入作業はハンドルを操作し、以下の順序で管の「引き込み」を行って下さい。

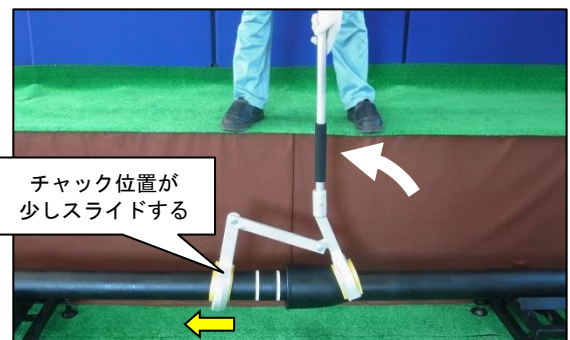
【順序】 1 回目：ゴム輪通過、2 回目：ロックリング通過、3 回目：白線合わせ

なお、下の写真のように「引き込み」後は「戻し」を行うことでチャック位置がスライドし、再度「引き込み」を行うことができます。**ただし、1 回目の挿入作業でゴム輪を通過しなかった場合は再度(1)を行い、セットし直してください。(再セットしなかった場合、管との隙間が生じて引き代が足りなくなり、破損につながる恐れがあります)**

※通常は比較的非力な作業者でも接合できますが、うまく引き込めない場合は、再度、挿し口チャック、受口チャックのセットからやり直してください。



(引き込み) ハンドルを受口側に回転



(戻し) ハンドルを逆方向に戻す

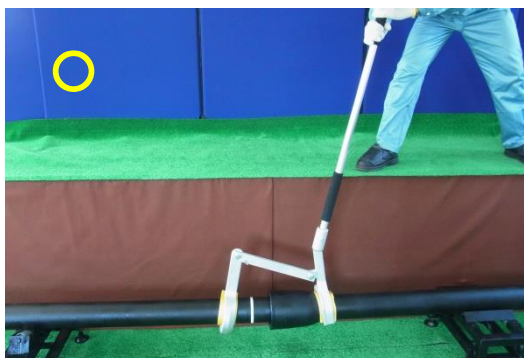


注意

- ・挿入する管が短い場合、接合が困難な場合があります。その場合、挿入する管の接合側と反対側の管端部が跳ね上がらないよう押さえて作業することで挿入しやすくなります。(最小の対応長さ目安：1.5m)
- ・逆接合（埋設管の挿し口に新管の受口を引き込む接合）の場合、ハンドルを傾けてセットすると、受口チャックが滑る場合があります。その場合、ハンドルを傾けすぎないようにセットし、少しずつ挿入してください。
- ・ストッパーがセットされていないと、再セットがしにくくなる場合があります。

【接合姿勢】

(掘削溝上での作業)



(掘削溝内での作業)



(3) 挿し口の引き込み時に、1本目の白線が受口内に入り込むまで、挿し口を挿入し過ぎた場合は、以下の方法で挿し口を所定の位置まで引き抜く。

- ①一旦、サイトコネクトⅡを管から取り外す。
- ②サイトコネクトⅡからストッパーを取り外す。
- ③受口チャックを受口端面に当て、挿し口チャックを挿し口にセットする。(下の写真参照)
- ④ハンドルを挿し口側へ回転させ、1本目の白線幅上に受口端面がくるまで、挿し口を引き抜く。
- ⑤作業完了後、直ちにストッパーを取り付ける。



警告

・ストッパーを取付けた状態で無理に挿し口を引き抜かないでください。サイトコネクトⅡが破損し、重大な災害を引き起こす恐れがあります。



注意

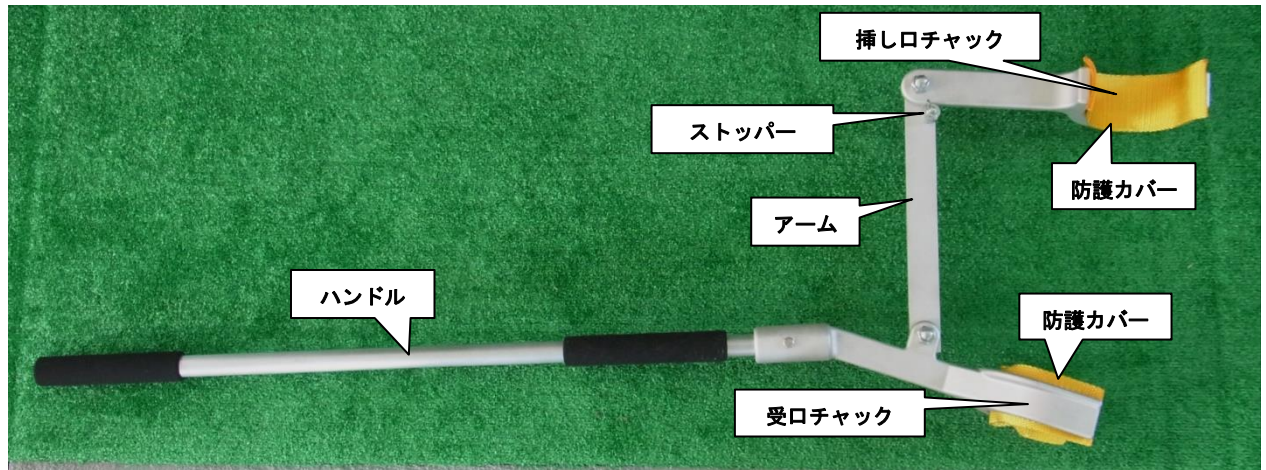
・ストッパーを取り外した後、挿し口チャックとアームの間で指を挟む恐れがありますので、挿し口チャックとアームの連結部付近を握らないようにして下さい。

・上記の作業は、滑剤の効果がなくなると実施できなくなります。挿し口を挿入し過ぎた場合には速やかに挿し口を引き抜いてください。

【サイトコネクトⅡの日常点検】

使用前に、本体の各部材に変形やひび割れ等の異常がないことを点検してください。異常がある場合は使用を中止し、以下の手順に従って部品の交換等行ってください。

<呼び径 75・100>

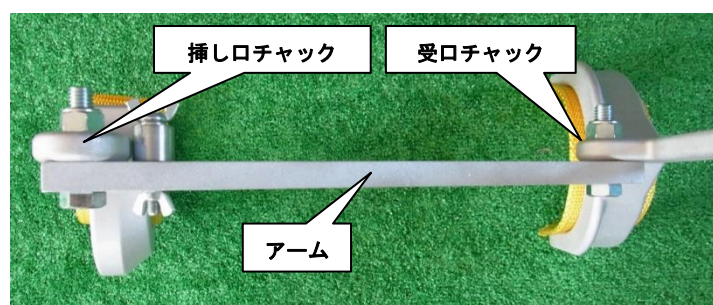


1) 連結部

- (1) 受口チャック、アーム、挿し口チャックの連結部でスムーズに回転するかを確認してください。
- (2) 連結部のボルト・ナットに緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、適切な工具で締め付けてください。その場合、締め付けすぎるとアームや挿し口チャックの動きが悪くなる恐れがあります。



- (3) 受口チャック および 挿し口チャックが、両方ともアームの同一面に取り付けられているかを確認してください。



2) ハンドル

ハンドルが曲がって変形していないことを確認してください。

※ハンドルが曲がって変形している場合は、速やかに新品に交換してください。

※ハンドルが曲がって変形した原因は、2° を超える曲げ接合等を行って過大な力で接合したことによりです。管の接合時には、受口に対し挿し口を真直ぐにして接合するよう心掛けてください。

※ハンドルは、呼び径 150 用と共通部品です。



3) 防護カバー

(1) 防護カバーに著しい磨耗がないことを確認して下さい。

※防護カバーは局所的に力がかかるため、同じ状態で使い続けると磨耗が早くなります。定期的に、防護カバーの上下、前後、左右や表裏を入れ替えるなどにより、長く使い続けることができます。

※防護カバーに著しい磨耗がある場合や、作業中に滑りが生じる場合には、防護カバーの新品への交換をお勧め致します。

【挿し口チャックの防護カバーの交換例】

挿し口チャックの防護カバーが摩耗した場合は表裏を反転させてご使用ください。

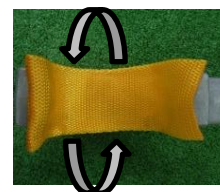
表裏両面が摩耗した場合は、新しいものに交換してください。



①表面が摩耗



②裏面に反転して使用



③裏面が摩耗



④新品へ交換

【受口チャックの防護カバーの交換例】

受口チャックの防護カバーが摩耗した場合は、表面を回転、次に裏面に反転、最後に裏面を回転させてご使用ください。受口チャックの防護カバーは1枚のカバーで4回使用できます。

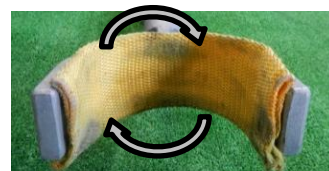
表裏両面が摩耗した場合は、新しいものに交換してご使用ください。



①表面の片側
が摩耗



②表面を回転
させて使用



③表面の両側
が摩耗



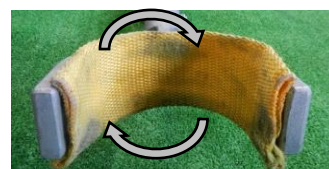
④裏面に反転
させて使用



⑤裏面の片側
が摩耗



⑥裏面を回転
させて使用



⑦裏面の両側
が摩耗



⑧新品へ交換

3) ハンドルスポンジ

(1) ハンドルスポンジに破れ等がある場合は、速やかに新品に交換してください。



◆ 連絡先 ◆

株式会社クボタ建設 営業部

〒273-0018 千葉県船橋市栄町 2-16-1
TEL : 047-401-5003 FAX : 047-401-5004

〒660-0095 兵庫県尼崎市大浜町 2-26
TEL : 06-6415-2018 FAX : 06-6415-2014